

宇宙に届いた 弥生の夢と笑顔

—満員御礼! ARISSスクールコンタクト in Yayoi (12/4) 大成功!!—

12月4日(金)、650名を超える方にお越しいただき、超満員の中で**ARISS (アリス) スクールコンタクト**が行われました。

17時から会が始まりましたが、この頃には会場もほぼ満員になりました。また、会場には会を盛り上げようと全校児童が作成した夢と宇宙に関する作品が飾り付けられました。

会の進行はサポーターの児童が担当し、開会行事では木村日本アマチュア無線連盟東海地方本部長様と服部弥富市長様にご挨拶をいただき、会に花を添えていただきました。

概要説明では、ARISSスクールコンタクトやこれまでの弥生小の取組が紹介されました。その後、チャレンジャー(交信者)14名がフロア中央に並び、紹介された後これまでの研修の成果として油井さんへの質問を英語で披露しました。

18時20分頃から会場のスクリーンに国際宇宙ステーション(ISS)の現在位置が映し出され、会場は次第に緊張に包まれました。ISSが台湾に近づく頃から、無線機を使ってオペレーターの磯先生によるISSへの呼びかけが始まりました。呼びかけが始まって数分後、雑音の混じる中、ISSからの声が会場に届きました。磯先生と**油井亀美也宇宙飛行士**双方の確認が取れ、いよいよチャレンジャーとの交信が日本語で始まりました。ISSが日本に近づくとき油井さんの声もよく聞こえるようになり、会場の全ての人が交信の内容を一言も聞き漏らすまいと耳を傾けていました。この間、約10分と短い時間でしたが、感動の時間を過ごすことができました。まさに「**本物に勝るものなし**」の感がありました。

油井さんはチャレンジャーの質問にていねいに答えるだけではなく、「〇〇さん、素晴らしい質問ですね」などと一人一人におほめの言葉もいただきました。チャレンジャーにとっては一生忘れない思い出となったことでしょう。最後に、会場の子どもたちに「**一生懸命に勉強し、がんばればチャンスは広がる**」とエールを送っていただきました。

交信の後、チャレンジャーとサポーターには「修了証」が、学校と弥富防災HAMクラブには「感謝状」が木村日本アマチュア無線連盟東海地方本部長様から渡され、記念撮影をして無事会が終了しました。

こうしてARISSスクールコンタクトは大成功で終わることができました。チャレンジャーやサポーターだけではなく、油井さんと弥生小で直接お話しした場に立ち会えたという貴重な経験は子どもたちの一生の思い出となり、大きな自信になったことと思います。これまでお支えいただいた多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

